

[省令第8条の4の5（1,000トン以上排出事業者用）]

様式第2号の8（第8条の4の5関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画書

令和7年 6 月 18 日

（宛先）長野市長 荻原 健司 様

提出者

住 所 長野県長野市大字富竹965-6

氏 名 株式会社 松興

代表取締役 松本 夏樹

（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号 026-236-9380

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社 松興
事業場の所在地	長野県長野市大字富竹965-6
計画期間	令和7年4月1日～令和8年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	建設業・解体業
② 事業の規模	元請完成工事高 ¥204,227,273
③ 従業員数	20人
④ 産業廃棄物の一連の処理工程	■工事現場 ※建設廃棄物発生 ↓ 処理委託 ■中間処理施設（再生施設） ※分別、破碎、再生品目 ↓ 再生（最終処分）委託、売却 ■再生施設（最終処分場） ※再生品製造、熱改修、埋立処分

（日本産業規格 A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

代表取締役社長（産業廃棄物統括責任者）

工事部

総務部

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和 6 年度）実績】						
	産業廃棄物の種類	がれき類(コンクリがら、廃アス	ガラス・コンクリート・陶磁器く	廃プラスチック(廃タイヤ、発泡	石綿含有産業廃棄物	汚泥(上・下水、建設、その他)	紙くず
	排 出 量	2,083.85t	187.50t	71.38t	48.13t	0.30t	1.65t
	産業廃棄物の種類	木くず	繊維くず	水銀使用製品廃棄物	廃油	廃石綿	金属くず
	排 出 量	298.76t	1.90t	0.60t	2.64t	4.20t	76.32t
	(これまでに実施した取組) ■ 人力での分別解体の徹底 ■ 産業廃棄物発生量の把握						
②計画	【目標】						
	産業廃棄物の種類	がれき類(コンクリがら、廃アス	ガラス・コンクリート・陶磁器く	廃プラスチック(廃タイヤ、発泡	石綿含有産業廃棄物	汚泥(上・下水、建設、その他)	紙くず
	排 出 量	1,667.08t	150.00t	57.10t	38.50t	0.24t	1.32t
	産業廃棄物の種類	木くず	繊維くず	水銀使用製品廃棄物	廃油	廃石綿	金属くず
	排 出 量	239.01t	1.52t	0.48t	2.11t	3.36t	61.06t
	(今後実施する予定の取組) ■ 発生する廃棄物の種類、発生状況、処理方法、処理に関する留意事項を整理する。 ■ 作業員それぞれが産業廃棄物の発生量を把握し作業に取り組み、産業廃棄物に関する知識を高めていけるよう指導する。						

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ■ 廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず、がれき類、石綿含有建材などに分別。 ■ それぞれについて他の廃棄物が混入しないように保管・徹底。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ■ 廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず、がれき類、石綿含有建材などに分別。 ■ より廃棄物の再資源化・減量化を図るため、建設副産物の処理に関する中間処理施設、再資源化施設、最終処分施設の受入条件等を調査・確認する。 ■ 分別解体をさらに徹底し、混合廃棄物の抑制を心がける。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項							
①現状	【前年度（令和 年度）実績】						
	産業廃棄物の種類	がれき類(コンクリート、廃アス)	ガラス・コンクリート・陶磁器く	廃プラスチック(廃タイヤ、発泡)	石棉含有産業廃棄物	汚泥(上・下水、建設、その他)	紙くず
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量						
	産業廃棄物の種類	木くず	繊維くず	水銀使用製品廃棄物	廃油	廃石棉	金属くず
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量						
	(これまでに実施した取組)						
②計画	【目標】						
	産業廃棄物の種類	がれき類(コンクリート、廃アス)	ガラス・コンクリート・陶磁器く	廃プラスチック(廃タイヤ、発泡)	石棉含有産業廃棄物	汚泥(上・下水、建設、その他)	紙くず
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量						
	産業廃棄物の種類	木くず	繊維くず	水銀使用製品廃棄物	廃油	廃石棉	金属くず
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量						
	(今後実施する予定の取組)						
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項							
①現状	【前年度（令和 年度）実績】						
	産業廃棄物の種類	がれき類(コンクリート、廃アス)	ガラス・コンクリート・陶磁器く	廃プラスチック(廃タイヤ、発泡)	石棉含有産業廃棄物	汚泥(上・下水、建設、その他)	紙くず
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量						
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量						
	産業廃棄物の種類	木くず	繊維くず	水銀使用製品廃棄物	廃油	廃石棉	金属くず
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量						
②計画	【目標】						
	産業廃棄物の種類	がれき類(コンクリート、廃アス)	ガラス・コンクリート・陶磁器く	廃プラスチック(廃タイヤ、発泡)	石棉含有産業廃棄物	汚泥(上・下水、建設、その他)	紙くず
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量						
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量						
	産業廃棄物の種類	木くず	繊維くず	水銀使用製品廃棄物	廃油	廃石棉	金属くず
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量						
(今後実施する予定の取組)							

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項							
①現状	【前年度（令和 年度）実績】						
	産業廃棄物の種類	がれき類(コンクリート、廃アス)	ガラス・コンクリート・陶磁器	廃プラスチック(廃タイヤ、発泡)	石綿含有産業廃棄物	汚泥(上・下水、建設、その他)	紙くず
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量						
	産業廃棄物の種類	木くず	繊維くず	水銀使用製品 廃棄物	廃油	廃石綿	金属くず
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量						
	(これまでに実施した取組)						
②計画	【目標】						
	産業廃棄物の種類	がれき類(コンクリート、廃アス)	ガラス・コンクリート・陶磁器	廃プラスチック(廃タイヤ、発泡)	石綿含有産業廃棄物	汚泥(上・下水、建設、その他)	紙くず
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量						
	産業廃棄物の種類	木くず	繊維くず	水銀使用製品 廃棄物	廃油	廃石綿	金属くず
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量						
	(今後実施する予定の取組)						

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

[illegible]

【目標】							
②計画	産業廃棄物の種類	がれき類(コンクリート、アスファルト、レンガ)	ガラス・コンクリート・陶磁器くず(石膏ボード含)	廃プラスチック(廃タイヤ、発泡スチロール含)	石綿含有産業廃棄物	汚泥(上・下水、建設、その他)	紙くず
	全処理委託量	1,667.08t	150.00t	57.10t	38.50t	0.24t	1.32t
	優良認定処理業者への処理委託量	23.21t	114.40t	40.18t			1.13t
	再生利用業者への処理委託量	1,667.08t	128.80t	14.78t		0.24t	0.67t
	認定熱回収業者への処理委託量						
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者へ処理委託量						
	産業廃棄物の種類	木くず	繊維くず	水銀使用製品 廃棄物	廃油	廃石棉	金属くず
	全処理委託量	239.01t	1.52t	0.48t	2.11t	3.36t	61.06t
	優良認定処理業者への処理委託量	99.14t	1.31t				
	再生利用業者への処理委託量	187.97t	1.52t	0.48t	2.11t		61.06t
	認定熱回収業者への処理委託量						
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者へ処理委託量						
	(今後実施する予定の取組)						
	■今まで実施している取り組みをさらに推進する。						
	■現場においては一層の建設廃棄物の排出抑制と、廃棄物処理施設との協力によりリサイクル率向上を図る。						
	■処分場に持ち込みする前に、分別を徹底し混合廃棄物を防ぐ。						

※事務処理欄

(第6面)

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が12以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。
また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

別紙 1

産業廃棄物処理計画書（産業廃棄物の実績及び計画の量）

処 理 事 項		産 業 廃 棄 物 の 種 類（実績値・計画値）												合 計	
		がれき類 (コンクリ がら、廃 プラスチック 等)	ガラス・ コンク リート・ 陶磁器 等	廃プラス チック(廃 タイヤ、 発泡スチ ロール等)	石綿含有 産業廃棄 物	汚泥(上・ 下水、建 設、その 他)	紙くず	木くず	繊維くず	水銀使用 製品廃棄 物	廃油	廃石綿	金属くず		
排出抑制に関する事項		前年度排出量(実績)	2,083.85t	187.50t	71.38t	48.13t	0.30t	1.65t	298.76t	1.90t	0.60t	2.64t	4.20t	76.32t	2,777.23t
		本年度排出量(計画)	1,667.08t	150.00t	57.10t	38.50t	0.24t	1.32t	239.01t	1.52t	0.48t	2.11t	3.36t	61.06t	2,221.78t
自ら行う(行った) 再生利用に関する事項		前年度実績													
		本年度計画(目標)													
自ら行う (行った) 中間処理 に関する 事項	自ら行う (行った) 熱回収の量	前年度実績													
		本年度計画(目標)													
	自ら中間処理 により減量 する(した)量	前年度実績													
		本年度計画(目標)													
自ら行う(行った)埋立 処分又は海洋投入処分 に関する事項		前年度実績													
		本年度計画(目標)													
処理の委託に 関する事項	全処理委託量	前年度実績	2,083.85t	187.50t	71.38t	48.13t	0.30t	1.65t	298.76t	1.90t	0.60t	2.64t	4.20t	76.32t	2,777.23t
		本年度計画(目標)	1,667.08t	150.00t	57.10t	38.50t	0.24t	1.32t	239.01t	1.52t	0.48t	2.11t	3.36t	61.06t	2,221.78t
	優良認定処理業者 への処理委託量	前年度実績	29.01t	143.00t	50.22t			1.41t	123.92t	1.64t					349.20t
		本年度計画(目標)	23.21t	114.40t	40.18t			1.13t	99.14t	1.31t					279.36t
	再生利用業者 への処理委託量	前年度実績	2,083.85t	161.00t	18.48t		0.30t	0.84t	234.96t	1.90t	0.60t	2.64t		76.32t	2,580.89t
		本年度計画(目標)	1,667.08t	128.80t	14.78t		0.24t	0.67t	187.97t	1.52t	0.48t	2.11t		61.06t	2,064.71t
	認定熱回収業者 への処理委託量	前年度実績													
		本年度計画(目標)													
	認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	前年度実績													
		本年度計画(目標)													

【記載方法】

- ・ 各産業廃棄物の種類ごとに該当の箇所の上段に前年度の実績（現状）を、下段に本年度の目標（計画）の産業廃棄物の量を記載してください。
- ・ 「自ら行う再生利用に関する事項」の欄は、自ら直接再生利用した量と中間処理した後再生利用した量を記載してください。
- ・ 「自ら行う埋立処分又は海洋投入処分に関する事項」は、自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量と自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量を記載してください。
- ・ 「処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量及びそれぞれの内訳を記載してください。